

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業報告書

事業No. 事業の名称	No.24 子どもたちの学習機会の確保事業	担当課	教育委員会事務局
事業の概要	<p>小中学校の長期にわたる休校措置に伴い、今夏は通常より長期休業を短縮し授業を実施する。子どもたちの安全な学習環境を確保するため、空き教室をフルに活用した少人数学習や、換気と空調を併行することで、例年以上の学校電気使用量が想定されることから、期間中の電気代に充当し、安全な学びの環境を整備する。</p>		
緊急経済対策との関係	1-8 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	事業の始期 事業の終期	令和2年7月 令和3年3月
総事業費	293,612円	事例集番号	-
交付対象経費	293,000円	補助・単独	単独
事業の効果	<p>1学期の臨時休校による授業時間の不足を解消するため、夏休み終了日を前倒しし、8月下旬から2学期を開始した。</p> <p>その際、密を避けるため、クラスを分けて授業を行ったため、使用教室が増えたことや、換気のため空調使用時も窓や出入口を開けて授業を行ったことで光熱費は増えたが、コロナ対策をとりつつ学びを保障することができた。</p>		
事業の様子 (写真等)			
備考欄			